

有機微量分析研究懇談会創立70周年記念大会シンポジウム
第 91 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会/
第 125 回計測自動制御学会力学量計測部会 第 41 回合同シンポジウム

松崎 剛
産業科学研究所 技術室 計測班

派遣先の機関名および派遣期間

派遣先: 岐阜大学

派遣期間: 2024年7月11日～13日

1. 派遣用務

第 91 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会/第 125 回計測自動制御学会力学量計測部会 第 41 回合同シンポジウム創立70周年記念大会シンポジウムに参加し、ポスター発表を行うと共に有機元素分析に関する最新の分析技術、分析装置の情報を得ることにより日常業務に反映させることを目的とする。

2. 出張の概要および成果

本合同シンポジウムは全国の大学の研究者、技術職員、装置メーカーを含む企業の研究者、技術者が一堂に会し、研究成果の発表、技術情報の交換を行う場で、74 名の参加があった。今回、私は「実用化を目指した有機微量元素分析分析用還元銅長寿化へのあくなき挑戦」と題してポスター発表を行い、優秀ポスター賞(一般部門)を受賞することができた。

さらに、有機元素分析用標準試料検定委員としての貢献が評価され、公益社団法人日本分析化学会有機微量分析研究懇談会より、創立創立70周年記念特別功労賞を授与された。

3.出張の感想および希望など

今回のシンポジウムでは、多くの研究者や技術者と交流し、最先端の技術情報を得ることができた。特に、有機元素分析における新たな手法や装置開発の動向について、多くの有益な知見を得られたことは、今後の業務の向上に大いに役立つと考える。また、ポスター発表を通じて、自身の成果を広く共有できただけでなく、同分野の専門家から貴重なフィードバックを得る機会となったことは、大変有意義であった。今後もこのような学会に積極的に参加し、最新技術の習得や情報交換を継続して行いたい。

